

議題（２）路線バス社会実験路線の１次評価結果に伴う対応内容について

1. 各路線の１次評価結果（４月１日～６月３０日までの利用状況に基づく数字）

路線名	収支率	1次評価結果
如意谷線	105%	そのまま社会実験を継続（パターン1～4）
箕面山麓線	116%	そのまま社会実験を継続（パターン1～4）
小野原東線 （箕面船場阪大前駅経由）	83%	そのまま社会実験を継続（パターン1～4）
箕面小野原線	60%	減便した上で社会実験を継続（パターン5～6）
箕面中央線 （新稲系統）	65%	減便した上で社会実験を継続（パターン5～6）

2. 路線バス網再編検討分科会における見直し対象路線に関する協議結果

- ・再編後に市民から寄せられた意見やアンケートの集計結果を受け、路線最適化に向け今後エリア毎に利用状況や各項目における満足度など詳細に分析する必要がある。



箕面小野原線と箕面中央線（新稲系統）について1次評価時点で減便等を行わず、現状のまま社会実験を継続する。

3. 路線バス網再編検討分科会における主なご意見

- ・便数については、再編前に実施したアンケートなどで要望されていた便数に対して、再編後の便数がどうであったかを比較する必要がある。
- ・バス利用者だけでなく、鉄道利用者などにもアンケートをとり、公共交通全体としてどうであるかの分析が必要である。
- ・東西に長い路線もあるため、見直し内容を検討する際には、アンケートや利用状況を分析し、減便だけでなく路線短縮なども含めて検討する必要がある。